

公益財団法人大阪陸上競技協会
第3期 事業報告(案)
(2023年4月1日～2024年3月31日)

(総括)

2023年度の競技会に関する計画の策定及び管理運営については、2023年5月8日からの新型コロナウイルス感染症の感染症法の類別変更を踏まえ、平時の運営となるように国の方針に即して感染防止に係る諸対応を転換した。これにより、まん延時における参加競技者の減少などの影響等を最小化し主催競技会収支の安定化を図っていくこととした。具体的には、参加競技者の拡大、観衆を増加させるため諸対策を講じることとした。競技会別にみると、木南記念陸上大会においては、初の観覧席を有料化、場内イベントプレゼンテーションの強化など競技会の魅力を高める施策を講じた。大阪マラソンにおいては、新コースを使用し雨天のコンディションの中、海外ランナーを含む3万4千人が出走。初マラソン日本最高記録の誕生などをNHKで中継放送し、完走率は過去最高となり、大阪の都市魅力の発信に貢献できた。

他方、長期間の感染防止措置による参加者の減少等による競技会収支の悪化、大阪アスレチックアカデミア・クラブ事業の創設による初期投資の増加、事務局体制の強化等に伴い短期的に資金繰りが悪化している。この状況を打開するため、収支の改善、予算の縮減、クラウドファンディングや補助金の確保等を柱とする2023年12月から16か月間の緊急収支改善計画を策定し、経営の健全化を図ることとした。

広報活動充実施策として、広報戦略部、映像配信部のスタッフによる競技会のYouTube配信の定例化、短編動画の配信などタイムリーな競技会情報発信を進めた。

本会の公益目的である陸上競技を通じてスポーツ文化の普及及び振興を図りもって府民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを具体化する事業として、陸上教室(大阪アスレチックアカデミア、アスレチックアカデミア・クラブ)事業を推進、小学生、中学生、社会人を受講生として毎週木曜日の夜間に教室、クラブは週4回の練習会をヤンマーフィールド長居等において実施した。これは教員の働き方改革を踏まえ中学の課外活動縮小に伴う生徒の運動部活動の地域側の受け皿となるものである。とりわけ、アスレチックアカデミア・クラブでは中体連の競技会に参加し、上位入賞を目指すこととした。

また、一般府民向けのランニング教室として第3回目となる長居スプリントチャレンジをヤンマースタジアム長居において実施した。

以下、2023年度における公益目的事業及び法人の管理運営について概括する。

1.陸上競技に関する諸計画の実施及びその技術指導等に関する事業

当協会は、2023年度に実施する競技会に関して、世界選手権大会、日本選手権大会、国民体育大会等の上位競技会の開催状況を踏まえつつ、当会主催競技会、協力団体競技会など府内の全ての競技会の年間計画(スケジュール)を関係団体、競技場施設と調整を図り策定した。最新の国際陸連、日本陸連の競技規則の周知に関しては、昨年までは新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から一同に集まっての講習会を中止していたが、5月に感染症法の5類への移行がなされる事を踏まえ、前倒しではあるが感染対策を徹底した上で4月に以前の形に戻して全審判員に対して「2023年度競技規則修改制」に係る講習会を実施した。

2023年度に大阪府内で行われた全ての主催・主管・共催・協力する競技会に審判員を派遣し技術指導を行った。

また、昨年後半から感染状況の変化に伴い他府県競技者の参加を一部認めてきたが、5月以降は

制限を撤廃し元通りの形で実施した。

2. 陸上競技会の主催、運営等に関する事業

(1) 国内競技会

①大阪陸上競技カーニバル

4月30日にヤンマーフィールド長居で実施した。昨年よりも参加者が増加した為、競技開始を15分早めたが混乱なく実施できた。

②第107回日本陸上競技選手権大会・第39回U20日本陸上競技選手権大会

6月1日～4日にヤンマースタジアム長居において、「ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会」を兼ねて実施した。シニアでは2種目で日本新記録、4種目で6つの大会新記録が樹立された。今大会で新たに男子3名がブダペスト世界陸上代表に内定した。

③第91回大阪陸上競技選手権大会

6月23日～25日にヤンマースタジアム長居及びヤンマーフィールド長居で実施した。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行した事に伴い競技会の参加形式をコロナ前に戻し、他府県登録者の参加を認める最初の競技会となった。招集方法も従来の形に戻して実施したが、特段の混乱もなく終了した。

④2023年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会

10月1日に万博記念競技場で実施した。例年使用している競技場が変更された事による多少の混乱があったが無事終了できた。また、審判の当日欠席が多かったが学生審判の協力によりスムーズな運営ができた。

⑤第26回全国視覚障がい者駅伝大会

10月29日にヤンマースタジアム長居・周回コースで実施した。長居会場に移って11回となるが今大会も成功裏に終了した。

⑥大阪・中之島2023競歩大会

11月26日に日本陸連公認中之島コースで実施した。パリ五輪で新採用の競歩男女混合リレーの国内初の開催であった。

⑦日本GPエディオンディスタンスチャレンジ in 大阪2023

12月7日にヤンマースタジアム長居で実施した。急遽開催決定がなされた為、平日開催となったが無事修了できた。

⑧2024大阪ハーフマラソン

1月28日に大阪城公園スタート～ヤンマーフィールド長居フィニッシュの日本陸連公認、WA認証コースで実施した。昨年に続き関西学生ハーフマラソン選手権大会を併催して実施した。女子で大会新記録が2つ達成された。

⑨第107回日本陸上競技選手権大会・室内競技

2月3日、4日に大阪城ホールで開催した。本大会は日本陸上競技連盟が主催する国内唯一の室内競技会である。室内日本新記録が1つ、室内U20日本新記録が2つ、12の大会記録が樹立された。

⑩その他記録会等

大阪陸上競技記録会は4月2日に第1回、4月8日・9日に第2回を実施した。

大阪陸上競技記録会中学の部は4月8日から6月18日まで計4回実施した。

長距離記録会は9月29日にナイター記録会、12月2日に第1回記録会、12月16日に第2回記録会を実施した。

(2) 国際競技会

①日本G P第10回木南道孝記念陸上競技大会

5月6日・7日に日本グランプリシリーズ、WAコンチネンタルツアー・ブロンズとしてヤンマースタジアム長居で実施した。春先にもかかわらず男子100mでは今季アジア最高記録が出た。また、メイン種目のハードルでは男女とも好記録が出るなど盛り上がった大会となった。合計で10種目の大会新記録が生まれた。

②第43回大阪国際女子マラソン

1月28日にヤンマースタジアム長居発着の日本陸連公認、WA/AIMS認証コースにおいて、MGCファイナルチャレンジ「パリ2024オリンピック日本代表選手選考競技会」を兼ねて実施した。昨年変更された折り返しのない記録が期待できるコースにおいて実に19年振りに日本新記録が達成され、前田穂南選手が最終的にオリンピック代表となった。

③大阪マラソン2024

2月25日に大阪府庁前スタート、大阪城公園内フィニッシュとする大阪マラソンコース(WA/AIMS認証コース)で開催した。今年から折り返しを3ヶ所に減らし、上り下りも押さえた新コースで実施した。あいにくの雨天開催であったが、昨年に続き初マラソン日本最高記録が誕生するなどコース変更が活きた大会であった。また、運営面では競技本部として大阪城ホールが使用できたことで昨年までの様々な課題が解決できた。

(3) 府民・市民向け陸上イベント

① 長居スプリントチャレンジ2023

本格的な陸上競技場で走ったことがない一般市民の皆さんに気軽に走っていただくことを目的に始まった「長居スプリントチャレンジ」も今年で3回目を迎え、9月16日にヤンマースタジアム長居で実施した。小学生から大人まで日本陸連に登録していない多くの方の参加があり、準備運動・スタートブロックの装着指導・スタートテストなど、当協会の指導者が丁寧に指導、援助した。そして写真判定装置による公式計時、結果を表示した大型スクリーン前での写真撮影を実施し好評を得た。

3. 陸上競技会に対する役員及び競技者の派遣に関する事業

特別国民体育大会、全国都道府県対抗男子駅伝、同女子駅伝、その他2023年度各競技会について

(1) 主な競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 特別国民体育大会(燃ゆる感動かごしま国体)

島津監督・船津監督以下、コーチ11名・マネージャー2名・トレーナー3名、選手28名を派遣。

・男女総合(天皇杯)3位 103.5点(1位:福岡県 124点、2位:京都府 117点)

・女子総合(皇后杯)優勝 64点(2位:福岡県 62.5点、3位:京都府 60点)

② 皇后盃 第42回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

安田監督以下、コーチ5名・トレーナー1名、選手13名(うち補欠4名)を派遣。

・総合6位 2°17'34" (1位:宮城県 2°16'30"、3位 2°17'23")

③ 天皇盃 第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

鈴木監督以下、コーチ6名・選手10名(うち補欠3名)を派遣。

・総合10位 2°20'55" (優勝:長野県 2°17'00"、8位 2°20'19")

(2) その他の競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(8月2日～8月6日:北海道・札幌市厚別公園競技場)

船津総監督（高体連強化部長）、成瀬男子監督（東海大仰星高校）、井畑女子監督（関大北陽高校）、選手94名を派遣。女子の800m（久保・東大阪大敬愛高校）と砲丸投（坂・大体大浪商高校）で優勝。

- ② 第50回全日本中学校陸上競技選手権大会（8月22日～25日：愛媛県・総合運動公園陸上競技場・ニンジニアスタジアム）

田中監督（中体連強化部長）以下、強化部員、個人種目71名（男子47名・女子24名）、リレー男女各1チームを派遣。女子800mと砲丸投で3位入賞。

- ③ “日清食品カップ” 第39回全国小学生陸上競技交流大会（9月17日：神奈川県・日産スタジアム）

指導者4名、選手14名（男子7名・女子7名）を派遣。5年女子1000mで2位入賞。

- ④ 第17回U18／第54回U16陸上競技大会（10月20日～22日：愛媛県・総合運動公園陸上競技場・ニンジニアスタジアム）

U18陸上競技大会では、男子1000m（アブラハム・東大阪大柏原高校）・走幅跳（松田・清風高校）・三段跳（木内・日根野高校）、女子3000mH（北村・大塚高校）・3000mW（奥野・浪速高校）・走幅跳（高宮・大塚高校）の6種目で優勝。

U16陸上競技大会では、女子三段跳（小川・大塚高校）と円盤投（小関・新東淀中学校）で優勝。

4 陸上競技指導者等の表彰に関する事業

(1) 公認審判員、競技者、指導者等の表彰

① 公認審判員、指導者等の表彰

功労賞は、審判員等として献身的に大阪の陸上競技のために貢献してきた方に授与するものであり、本年度は9名の方に授与した。

優秀指導者賞は、ジュニア競技者の育成に顕著な業績を上げた優秀な指導者に授与するものであり、本年度は中学生の指導者、高校生の指導者合計5名を表彰した。

② 競技者の表彰

勲功章は、全国大会等の優勝者、大阪新記録の樹立者に授与するもので、今年度は56名の競技者に授与した。

③ その他の表彰

世界記録・アジア記録樹立時の競技者・指導者表彰に関する該当者はなかった。

④ 激励金の交付

ブダペスト世界選手権の代表となった坂井、小池、泉谷、丸山、寺田、松田、加世田の7選手に当会規定に基づき激励金を贈呈した。

5. 陸上競技選手等の育成・指導に関する事業

(1) 強化事業（競技者の育成）

① 女子長距離夏季強化合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、その中心となる高校生候補選手7名を集め、御岳高原高地トレーニングエリアで11日間（7月8日～18日）の強化合宿を実施した。

② 男子長距離夏季強化合宿

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会での上位入賞を目指し、大阪中学校体育連盟陸上競技専門部と連携し、中学生男子47名が参加し御岳高原高地トレーニングエリアで3日間（7

月28日～30日)の強化合宿を実施した。

③ 小学生中学生合同練習会

大阪中学校体育連盟陸上競技専門部と大阪小学生陸上運動研究協議会と連携し、小中学生合同での第1回練習会を7月27日、万博記念競技場で実施し、小学生15名、中学生139名が参加した。

第2回練習会は1月6日、万博記念競技場で実施し、小学生13名、中学生198名が参加した。

④ 国体強化合宿

特別国民体育大会での男女総合優勝を目指し、その大阪代表選手を集め、水口スポーツの森 陸上競技場で3日間(8月29日～31日)の強化合宿を実施した。

⑤ 国体強化練習会

特別国民体育大会での男女総合優勝を目指し、9月18日にその大阪代表選手を集め、万博記念競技場で強化練習会を実施した。

⑥ 強化選手<中学生・高校生>練習会

2024年度全国大会で上位入賞を狙える強化選手Aランク41名(中学生12名・高校生29名)と下位入賞を狙える強化選手Bランク69名(中学生36名・高校生33名)を選考し、強化練習会を2回(12月3日、2月18日)万博記念競技場で実施した。

⑦ 高体連強化育成練習会

2024年度大阪高体連強化標準記録突破選手と高体連強化コーチ推薦選手、男女計238名が参加して、ヤンマースタジアム長居・金岡公園陸上競技場等で3日間(12月25日～27日)の練習会を実施した。

⑧ 冬季大阪ジュニア陸上強化合宿

大阪中学校体育連盟陸上競技長距離強化選手9名・強化部推薦選手65名を集め、紀三井寺陸上競技場およびその周辺で3日間(12月25日～27日)の強化合宿を実施した。

⑨ 男子駅伝チーム合同練習会

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で過去最高順位の更新を目指し、選手11名(中学生5名、高校生6名)で長居公園周回コースを使用して4回(12月23日・26日・27日、1月13日)の合同練習会を実施した。

⑩ 女子駅伝チーム年末合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、選手7名(中学生3名、高校生4名)と来年度に向けての育成選手2名を集め、駅伝コースおよびその周辺で2日間(12月28日～29日)の強化合宿を実施した。

⑪ 女子駅伝チーム試走合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、選手7名(中学生3名、高校生4名)と来年度に向けての育成選手2名を集め、実際の駅伝コース試走を中心に3日間(1月4日～6日)の調整合宿を実施した。

⑫ 男子駅伝チーム試走合宿

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で過去最高順位の更新を目指し、選手11名(中学生5名、高校生6名)で実際の駅伝コース試走を中心に2日間(1月4日～5日)の調整合宿を実施した。

⑬ 冬季強化合宿

2024年度全国大会で上位入賞を狙える強化選手Aランクを中心に31名(男子15名・女子16名)を選考し、鹿児島県のジャパンアスリートトレーニングセンター大隅で4日

間（１月４日～７日）の強化合宿を実施した。

⑭ 中体連強化選手練習会

大阪中学校体育連盟陸上競技強化選手５８名・強化部推薦選手７２名を集め、強化練習会を４回（１月２１日、２月１０日、２月１７日、３月３日）万博記念競技場で実施した。

⑮ 春季大阪ジュニア陸上強化合宿

大阪中学校体育連盟陸上競技強化選手５４名・強化部推薦選手等９３名を集め、紀三井寺陸上競技場およびその周辺で３日間（３月２６日～２８日）の強化合宿を実施した。

（２）指導者の育成

有資格者（日本スポーツ協会および日本陸上競技連盟公認スポーツ指導者）の育成

① J A A F公認コーチ＜J S P O公認陸上競技コーチ３＞

日本スポーツ協会・日本陸上競技連盟主催の「J S P O公認陸上競技コーチ３養成講習会」に受講者を推薦した。

② J A A F公認ジュニアコーチ＜J S P O公認陸上競技コーチ１＞

２０１５年度から８回目（２０２０年度のみコロナ感染拡大による中止）の「J S P O公認陸上競技コーチ１養成講習会」大阪会場を開催し、３９名が受講した。

③ J A A F公認スタートコーチ＜J S P O公認陸上競技スタートコーチ＞

２０２２年度から始まった「J A A F公認スタートコーチ養成講習会」も２年連続大阪会場を開催し、１５名が受講した。

④ 日本陸上競技連盟委嘱 エducator＜コーチ育成者＞

２０２３年度「エducator養成講習会」を１名受講し、大阪にはエducator１名、エducator候補１名となった。

⑤ 冬季大阪ジュニア陸上競技指導者研修合宿

大阪中学校体育連盟各地区陸上競技専門部委員会から推薦を受けた陸上競技指導者１７名に３日間（１２月２７日～２９日紀三井寺陸上競技場）参加してもらい、陸上競技（２０２３年度も短距離・ハードル・走幅跳）を通した身体リテラシーの育成方法や実践的指導理論に基づく中学生に最適なトレーニング方法を習得してもらった。

⑥ 近畿ブロック研修合宿への指導者派遣

中学生の陸上競技に携わる選手及び指導者が競技に対する知識と理解を深めながら種目に応じた技術指導の中、一層の競技力向上に寄与するとともに集団生活を通じて基本的な生活習慣の確立と選手相互の友情を培うことを目的として３日間（１月６日～８日）紀三井寺陸上競技場で研修合宿を実施した。

２０１９年度までは上記目的で日本陸上競技連盟主催（日本陸連から予算２４０万円）合宿だったが２０２０年度から中止した。しかし、この近畿ブロックが一つになっての合宿は選手にとっても指導者にとっても大変意義あるものであったため、近畿陸上競技協会に主催をお願いし、２０２２年度以降も継続していくことを決めた。

⑦ 有資格指導者への情報発信、資格更新研修会

資格有効期限間近の指導者に連絡、更新研修会を紹介するとともに、上記⑤を資格更新研修会として、有資格者に受講を勧めた。

⑧ 中学生・高校生の指導者対象の各種目別実技指導講習会

大阪中学校体育連盟陸上競技専門部、大阪高等学校体育連盟陸上競技部、また各市陸上競技協会等と連携し、年数回の種目別実技指導講習会を開催した。

（３）大阪アスレックスアカデミア事業

＜アスレックスアカデミア＞

小学生、中学生、社会人を対象にヤンマーフィールド長居を拠点として週 1 回講座を開催した。カリキュラムは、運動の苦手な子どもたちも参加できる内容とし、初心者の方には各々の運動能力に配慮したものとした。

とりわけ、小中学生の受講生の心身の健全な育成と成長を丹念に支援していくとの事業目標のもとに、子供たちが楽しく運動に触れあえるものとし、走、投、跳の基礎動作について用具を使って楽しく学習、体験できるものとした。中学生の育成指導に関して実績のある当会の理事、職員に加えオリンピック、国際陸連公認コーチ、日本スポーツ協会公認指導員、看護師をコーチ、支援員に配置した。保護者に対しても、運動の基礎理論や小学生期の発達段階における育成の方法、栄養取得などに関する講義を行い、身近な家庭からも成長を見守れるよう支援を行った。

また、大阪市の後援を受け、同市の広報の支援をいただくなど事業の幅広い広報活動を行った。

＜アスレチックアカデミア・クラブの創設＞

国(文部科学省・スポーツ庁)においては教員の働き方改革を推進しており、とりわけ中学校の課外活動に関して地域差はあるものの教員の土日の活動の縮小により競技会への帯同も廃止される方向性となっている。本アカデミア・クラブは、こうした運動部活動の縮小にともなう地域側の受け皿となるものである。とりわけ、アスレチックアカデミア・クラブは、中体連の競技会に正式に参加することとし、登録生、練習生(登録をアスレチックアカデミア・クラブ以外で行っている生徒)のカテゴリーを設け、週 4 回の練習会を実施している。今後、登録生、練習生の育成を図りながら競技会での上位入賞を目指していく。また、本クラブは、将来のトップアスリートのインキュベーター機能を有する資源としてその基盤整備を図っていく。

＜受講者実績＞

学年	人数	備考
低学年	34 人	1 年生(10 人)、2 年生(7 人)、3 年生(17 人)
高学年	45 人	4 年生(18 人)、5 年生(8 人)、6 年生(19 人)
中学生	10 人	1 年生(3 人)、2 年生(6 人)、3 年生(1 人)
中学登録生	19 人	1 年生(11 人)、2 年生(5 人)、3 年生(3 人)
中学練習生	24 人	1 年生(6 人)、2 年生(17 人)、3 年生(1 人)
社会人	4 人	
計	136 人	

(4)第Ⅱ期OSAKA夢プログラム事業

・事業概括

本事業は、地元大阪から 2020 東京オリンピック競技大会に代表選手を送り、スポーツを通じた地域の活性化につなげたいとの決意のもとに地元経済界の多大なるご支援をいただき 2015 年 9 月からスタートした。2021 年 6 月にヤンマースタジアム長居で開催した『第 105 回日本陸上競技選手権大会(東京オリンピック代表最終選考会)』において、男子 100m において多田修平選手、同 200m において小池祐貴選手が優勝し、個人種目とリレーで念願のオリンピック出場が決定するなどの成果を上げた。ブダペスト 2023 世界選手権においては、当事業指定競技者から 10 名が代表選手として選出される快挙となった。泉谷選手が 110mH 競技で 5 位となるなどメダル獲得が期待される成果を上げることができた。

第 2 期 OSAKA 夢プログラム事業の指定競技者は、下記の選手を選定した。大阪登録選手だけでなく、大阪ふるさと登録選手も指定競技者に選考し、パリオリンピック・パラリンピックでのメダル獲得、入賞を目指すこととした。今期は、メダリストを育成した指導者からのコーチングを受けるなどをはじめ海外のナショナルチームへの合同練習、海外競技会への参戦など積極的な海外遠征を実施

した。特に冬季の室内競技会などへの参加を行い国際レベル競技者が参加する競技会体験を増やし、自己記録更新などの成果を上げた。

〈2023年度 第Ⅱ期OSAKA夢プログラム 指定競技者〉

1	坂井 隆一郎	男	大阪ガス	100m	A
2	小池 祐貴	男	住友電気工業	100m	A
3	泉谷 駿介	男	住友電気工業	110mH	A
4	丸山 優真	男	住友電気工業	十種競技	A
5	堀越 信司	男	NTT西日本	PARAマラソン	A
6	寺田 明日香	女	ジャパンクリエイト	100mH	A
7	田中 佑美	女	富士通	100mH	A
8	松田 瑞生	女	ダイハツ	マラソン	A
9	加世田 梨花	女	ダイハツ	マラソン	A
10	秦 澄美鈴	女	シバタ工業	走幅跳	A
11	森本 麻里子	女	内田建設	三段跳	A
12	福田 翔大	男	日本大学	ハンマー投	B
13	野田 明宏	男	自衛隊体育学校	競歩	B
14	塩見 綾乃	女	岩谷産業	800m	B
15	前田 穂南	女	天満屋	マラソン	B
16	多田 修平	男	住友電気工業	100m	C
17	伊東 利来也	男	住友電気工業	400m	C
18	渡邊 瑛斗	男	筑波大学	棒高跳	C
19	北田 琉偉	男	日本体育大学	棒高跳	C
20	アツホ・ン ジェイツ	男	福岡大学	砲丸投	C
21	渡辺 愛	女	園田学園女子大学	800m	C
22	佐藤 友佳	女	ニコニコのり	やり投	C

(5)障がい者競技者指導、競技会への役員派遣

大阪市障害者福祉スポーツ協会の委託を受け、障がい者対象の陸上教室（ランrunラン）に指導者を派遣し、楽しく陸上競技、スポーツを楽しめるよう指導した。今年度は、大阪アスレチックスアカデミア事業とも連携して一緒に練習を行う取り組みも実施した。

大阪市障がい者スポーツ大会及び大阪府障がい者スポーツ大会の審判員を派遣し競技運営にあたるとともに、全国障がい者スポーツ大会の大阪府選手団の選考を行い、大会に役員を派遣した。また、大阪府選手団の練習会の指導を行った。さらに、ヤンマースタジアム長居において開催された全国視覚障がい者駅伝大会へ審判員を派遣した。

6.その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 競技者・公認審判員登録管理等

登録競技者数(過去4年推移)

年度	登録競技者数	増減
2019	29,695	—
2020	27,199	△2,496
2021	25,682	△1,517
2022	25,045	△637

2023	22,765	△2,280
------	--------	--------

登録競技者数は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による影響を受け大きく減少し2万2千人台となった。これは、少子化の進展とともに新登録システムに不慣れな競技者が登録を避けたことや経費の節約志向などが影響し登録者数の減少につながったものと考えられる。登録競技者の減少は、協会の基礎的な運営基盤の低下となるものであり、対策の検討が求められる。

公認審判員登録数(期末登録者数)

年度	大阪陸協公認審判員登録者数	増減
2019	1,510 人	—
2020	1,406 人	△104 人
2021	1,326 人	△80
2022	1,341 人	15 人
2023	1,285 人	△56

当会が所管する公認審判員登録者数は、登録者の高齢化が進み審判編成や審判技術の継承にも課題が生じている。教員の働き方改革の推進により自治体によっては運動部活動への付き添い指導が行えなくなることが想定される。中体連、高体連の所属教員を中心に審判編成してきた現状から、とりわけ大規模大会での審判員の確保に困窮する事態も生じており、高年齢審判員の定年制の見直しや学生・高校生などの若年審判員の育成、活用が課題となっている。今期は、大阪マラソン等において、75歳超の審判員を委嘱するとともに、学生審判員、補助員の委嘱により必要な人員を確保できたが、抜本的な対策が求められている。

(2) 広報活動(ホームページ、Y o u T u b e、S N S等の活用促進の推進)

当会活動の発信力を高めていくため、ホームページ搭載コンテンツの即時性を高め、見やすい画面にするように運用改善を進めた。Y o u T u b e配信を活用した生中継等に関してもアナウンスを加えるなどの工夫を加えコンテンツの充実を図った。また、スマートフォンで簡単にみられるように改良した。T w i t t e rやF a c e b o o kへの投稿にも努めた。

競技会要綱、エントリーリスト、スタートリスト、リザルト速報、公式リザルトなど競技会情報をタイムリーにホームページに掲載し、府・市民の皆様の誰もが閲覧できるようにした。

大阪マラソンにおいては、日本放送協会、毎日放送、読売テレビにおいて中継放送を実施した。市民ランナーを含む約3万4千人の参加により大いに盛り上がった。

O S A K A夢プログラム事業は専用ホームページにおいて、活動の様様や結果を報告した。

第10回木南記念陸上においては、Y o u T u b e中継配信を行い関西テレビアナウンサー、解説に各種目の専門家を招請し実況中継を行った。府立箕面高校放送部との連携による交流にも努めた。

大阪アスレチックスアカデミア事業専用ホームページを設けたほか、大阪市の後援を獲得し、市を通じた広報も行っていただき、全小学生向けに配布されるリーフレットにも掲載いただくなど広く地域の小学生や保護者への周知を進めた。

(3) 公認審判員の育成等

2023年度審判講習会、新規公認審判員認定講習を下表の日程で実施した。本講習会において、国際陸連・日本陸連競技規則の修正周知を図った。

回	期日	大会名	場所	参加者
第1回	2023/04/09	第2回記録会	ヤンマースタジアム長居	559
第2回	2023/04/24	大阪マスタース陸上大会	ヤンマーフィールド長居	141
第3回	2023/06/17	第4回記録会(中学生)	万博記念公園陸上競技場	301
第4回	2023/06/18	大阪実業団陸上	ヤンマーフィールド長居	164

AED操作講習会は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ中止した。

(5) その他

評議員会など機関会議等の開催状況、重要な検討事項について、以下の通りである。

1) 評議員会

開催状況、審議内容は、次のとおりである。

○2023年度定時評議員会

日時；2023年6月13(火)18：00～

場所；住友ビル12階 特別会議室

I、連絡事項

1. 任期満了に伴う評議員選定委員会の評議員選定結果について

II、議 案

第1号議案 理事、監事の選任について

第2号議案 平成4年度事業報告、付属明細書の承認について

2022年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、付属明細書の承認について、平成4年度監査報告について

III、報告事項

1. 主要事業について

- ・大阪アスレチックアカデミア事業について
- ・第二期OSAKA夢プログラム事業について
- ・長居 Sprint-Challenge 事業について
- ・大阪マラソン2024について

2) 理事会

開催状況、審議内容は、次のとおりである。

○2023年度 第1回理事会

2023年4月11日(火) 18時30分～

場 所：ヤンマースタジアム長居

議 長：古城 健 副専務理事

I 報告事項

1. 臨時評議員会報告

2. 事務局報告

II 連絡事項

1. 第10回木南道孝記念陸上競技大会について

2. 第107回日本陸上競技選手権大会について

3. 理事、監事の役割と責任について

※別紙必携配付により周知徹底の大阪府指導あり

III 協議事項

1. 代表理事・業務執行理事の選任等、

2023－2024年度大阪陸協機構（案）について

- ・法定の役職選任(代表理事、業務執行理事)
- ・任意の役職(会長、副会長、専務理事、副専務理事、常務理事)

2. 経理規程、決裁事務規程の特例について

IV その他

- ・事務局連絡等（理事名刺作成の件ほか）

・各委員会報告 総務委員会 競技委員会 強化委員会 広報委員会 財務委員会 経営戦略会議
コンプライアンス委員会 大阪アスレチックスアカデミア

○2023年度第2回理事会

2023年5月26日(金) 18時30分～

場 所：ヤンマースタジアム長居

議 長：古城 健 副専務理事

I 報告事項

1. 2023年度審判講習会について

第1回4/9（一般：長居）、第2回4/23（学生：長居）第3回6/17（一般：万博）第4回6/18（学生：長居）

3. 競技会

- ・第1回大阪陸上競技記録会（万博・長居）〔4/2〕
- ・第2回大阪陸上競技記録会〔4/8・9〕
- ・第1回大阪陸上競技記録会（中学）〔4/8〕
- ・第2回大阪陸上競技記録会（中学北部＜万博＞・南部＜長居＞）〔4/22〕
- ・第3回大阪陸上競技記録会（中学北部＜万博＞・南部＜金岡＞）〔5/13〕
- ・第1回小学生陸上競技記録会〔枚方〕〔4/16〕
- ・大阪陸上競技カーニバル〔4/30〕
- ・WACT日本GP第10回木南道孝記念陸上競技大会〔5/6・7〕

II 連絡事項

1. 第107回・第39回U20日本陸上競技選手権大会について〔6/1～4〕
2. 第91回大阪陸上競技選手権大会〔6/23～25〕について
3. 2023年度 大規模大会の分担について
4. 2023年度 大阪陸上競技協会機構（案）について
5. 大阪マラソン2023および2024〔2024/2/25〕について
6. 定時評議員会〔6/13〕について

III 協議事項

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告の承認並びに監査報告について
第2号議案 基本財産、特定費用準備資金、資産取得資金及び引当金の取崩・積立について
第3号議案 顧問・参与の委嘱について
第4号議案 大阪スポーツ賞候補者推薦について
第5号議案 固定資産の購入について

IV その他

・事務局連絡等

特定費用準備資金、資産取得資金等の取崩、積立について

・各委員会報告 総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、
コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア

○2023年度 第3回理事会

2023年6月20日(火) 18時30分～

場 所：ヤンマースタジアム長居

議 長：讃岐 富男 副専務理事

I 報告事項

1. 定時評議員会〔6/13〕報告

2. 競技会報告

- ・第107回 第39回U20日本陸上競技選手権大会〔6/1～4〕について
- ・第2回小学生陸上競技記録会（枚方）〔6/11〕
- ・第4回大阪陸上競技記録会＜中学＞（万博）〔6/17～18〕
- ・第71回大阪高校陸上競技対校選手権大会〔5/26～28〕
- ・第76回全国高校総体近畿地区予選会（和歌山）〔6/15～18〕
- ・第51回大阪実業団対抗陸上競技大会〔6/18〕
- ・第37回大阪マスターズ陸上選手権〔6/17〕

II 連絡事項

1. 第91回大阪陸上競技選手権大会〔6/23～25〕について
2. 大阪マラソン2024〔2024/2/25〕について
3. 加入クラブ代表者会議〔7/4〕について
4. OSAKA夢プログラム（第II期）について

III 協議事項

1. 代表理事、副会長、業務執行理事等の選定について
2. 功労賞・勲功賞・優秀指導者賞候補者について
3. 費用弁償規程の運用について

IV その他

- ・事務局連絡等
- ・各委員会報告 総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア

○2023年度 第4回理事会

2023年8月23日(水) 18時30分～

場 所：ヤンマースタジアム長居

議 長：讃岐 富男 副専務理事

I 報告事項

1. 競技会報告
 - ・第91回大阪陸上競技選手権大会について〔6/23～25〕
 - ・第76回全国高校陸上競技対校選手権大会〔8/2～6〕
2. 加入クラブ代表者会議について〔7/4〕
3. JAAF公認スタートコーチ養成講習会〔7/27〕およびJAAF公認ジュニアコーチ養成講習会について〔8/13～14〕

II 連絡事項

1. NAGAI Sprint Challenge 2023 について〔9/16〕
2. 大阪マラソン2024〔2024/2/25〕について

III 協議事項

1. かごしま特別国体・大阪代表選手選考について

IV その他

- ・事務局連絡等
- ・各委員会報告、総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア

○2023年度 第5回理事会

2023年10月18日(水) 18時30分～

場 所：ヤンマースタジアム長居

議 長：葦原 慶治 副専務理事

I 報告事項

1. 競技会報告

- ・NAGAI Sprint Challenge 2023 [9/16]
 - ・大阪陸協長距離ナイター記録会 [9/29]
 - ・2023年度大阪陸協加入クラブ対抗大会 [10/1]
 - ・第56回近畿高校ユース陸上競技対校選手権大会 [9/16～18]
 - ・第50回全日本中学校陸上競技選手権大会 [8/22～25]
 - ・U16競技会挑戦記録会 [9/10]
 - ・第4回小学生陸上記録会 [9/3]
 - ・2023アンリミテッドスポーツフェスティバル
 - ・かごしま特別国民体育大会（総合成績）について [10/13-17]
- ### 2. 近畿陸協役員総会について [9/3]
- ### 3. アジア選手権大会 [7/12～17]、世界選手権大会 [8/19～27] について

II 連絡事項

- ### 1. 大阪・中之島2023競歩大会 [11/26] について
- ### 2. 第43回大阪国際女子マラソン・2024ハーフマラソンについて [2024/1/28]
- ### 3. 大阪マラソン2024 について [2024/2/25]
- ### 4. 大阪マラソン開催組織の法人化について

III 協議事項

- ### 1. 2024年日本GP木南道孝記念大会 [2024/5/11～12] の検討事項等について

IV その他

- ・事務局連絡等

大阪スポーツ賞受賞者決定について

クラウドストレージの導入について

・各委員会報告、総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア

○2023年度 第6回理事会

2023年12月8日(金) 18時30分～

場 所：ヤンマースタジアム長居

議 長：葦原 慶治 副専務理事

I 報告事項

1. 競技会報告

- ・大阪陸協第1回長距離記録会・大阪選手権(10000m) [12/2] について
 - ・第74回全国高校駅伝兼第35回全国高校女子駅伝大阪予選会 [10/28]
 - ・第73回近畿高校駅伝・第38回近畿高校女子駅伝競走大会 [11/26]
 - ・第74回大阪中学校駅伝兼第45回大阪中学校女子駅伝競走大会 [11/12]
 - ・第43回男子・第36回女子近畿中学校駅伝競走大会 [12/3]
 - ・第5回小学生陸上記録会兼大阪小学生陸上競技会 [10/29]
- ### 2. 大阪ロードレース [12/3] について
- ### 3. 大阪・中之島2023競歩大会 [11/26] について
- ### 4. OSAKA夢プログラム報告会 [11/10] について

II 連絡事項

1. 第43回大阪国際女子マラソン・2024ハーフマラソンについて〔1／28〕
2. 第107回日本陸上競技選手権大会・室内競技について〔2024／2／3～4〕
3. 大阪マラソン2024 について〔2024／2／25〕
4. 大阪マラソン開催組織の法人化について

III 協議事項

1. 令和5年度中間決算について
2. 緊急収支改善対策＜令和5年度下期～令和6年度＞について
3. 収益事業検討のプロジェクトチームの編成について
4. 栄章について
5. AIMS世界会議〔2024〕における理事改選について

IV その他

- ・事務局連絡等
- ・各委員会報告、総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア

○2023年度 第7回理事会

2024年3月22日(金) 18時30分～

場 所：ヤンマースタジアム長居

議 長：古城 健 副専務理事

I 報告事項

1. 競技会報告
 - ・皇后盃第42回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会報告
 - ・天皇盃第29回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会報告
 - ・第43回大阪国際女子マラソン・2024ハーフマラソン〔1／28〕
 - ・第107回日本陸上競技選手権大会・室内競技、日本室内陸上競技大阪大会について〔2／3～4〕
 - ・第15回おおさか子どもEKIDENについて〔2／10〕
 - ・市長杯第76回大阪市民駅伝競走大会〔2／11〕
 - ・大阪マラソン2024について〔2／25〕
2. 近畿陸協役員総会について〔3／5〕
3. OSAKA夢プログラム活動報告

II 連絡事項

1. 第11回木南道孝記念陸上競技大会について〔5／12〕
2. OSAKA EXPO記念駅伝の開催について〔2025／3／16〕＜万博記念公園～夢洲＞
3. 2024年度 大規模大会の分担について
4. 2024年度 競技会理事担当割り当てについて

III 協議事項

1. 審判手当等規程(案)、電子マネー等による支払について
2. 経理規程の改正(案)について＜出納員の設置＞
3. 令和6年度事業計画、予算案について
4. 大阪マラソン開催組織の法人化について
5. 定時評議員会〔6／14〕招集について
6. 常勤理事の報酬額等について

7. 令和6年度事務局職員の採用について
8. 費用弁償規程の運用の改正について
- 9 定款変更について
10. 法人カード取扱規程の制定について

IV その他

・事務局連絡等

・各委員会報告、総務委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア、収益事業検討PT

3)常務理事会

開催状況等について

常務理事会は、会長、専務理事、常務理事が理事会に提出する議案の事前審査、事業運営に関する意見交換を行う会議であり、原則として、理事会開催月の前月に開催することとしている。令和5年度は下表のとおり5回の会議を招集し審議を行った。

会議名	開催日	主な審議事項	備考
第1回常務理事会	2023. 4. 26	大阪スポーツ賞候補者推薦について	
第2回常務理事会	2023. 7. 12	大阪マラソン2024について	
第3回常務理事会	2023. 9. 13	2024木南記念陸上の検討事項について	
第4回常務理事会	2023. 11. 16	緊急収支改善対策について 収益検討プロジェクトチームの編成について	
第5回常務理事会	2024. 1. 16	経理規程の改正について	

4)専門委員会

審議状況について

・総務企画委員会

当委員会は、メール交換等の方法で開催し、各種新規事業の計画を審議するとともに、評議員会、理事会、常務理事会の準備や法令の改正調査、規程改正案の審査等を行った。また、大阪選手権大会において表彰する功労賞等の選考に関する事務、評議員会、理事会、常務理事会の議事録作成事務等を行った。

・競技委員会

第1回競技委員会（全体会）（於：2023年6月21日、ヤンマースタジアム大会運営室）

- (1)今年度前半競技会の総括
- (2)各部の活動状況報告
- (3)各部の本年度活動方針、活動計画について

第2回競技委員会（部長会議）（於：2023年12月21日、大阪陸協横会議室）

- (1)今年度後半競技会（12月まで）の総括
- (2)次年度競技日程について
- (3)次年度競技会要項について
- (4)競技会赤字縮小対策について
- (5)各部の活動状況の報告

第3回競技委員会（全体会）（於：2024年2月29日、ヤンマースタジアム長居大会運営室）

- (1)2024年度競技会日程について
- (2)2024年度競技会要項について

(3) 全国競技運営責任者会議報告

(4) 各部からの報告

・強化委員会

第1回強化コーチ会議（7月11日） 国体選手選考、国体総合優勝に向けて

国体選手選考コーチ主任会議（8月18日） 国体大阪代表選手選考

国体申込書類作成会議（8月21日） 国体資格審査、申込書類作成

第2回強化コーチ会議（11月9日） 2024年度に向けた強化方針、強化策について

・広報委員会

競技会のY o u T u b e 配信を定着させ、開設も加えたコンテンツとして配信した。日本選手権において、O S A K A 夢プログラムの指定競技者のインタビューを配信するなど、広報の幅を広げるとりくみを推進した。

また、有識者(住友電工、大阪ガス、N T T 西日本各広報部長)を委員に招請し、広報活動の在り方(迅速性、映像、狙い)に関して意見を伺い、広報活動の活性化について議論し、今後の方針を定めた。

第1回9月26日住友ビル

・経営戦略会議

中長期の課題について議論を行った。とりわけアスリートの地元での就職を促進していくための方策、競技会を盛り上げていくための方策、第二期中期事業計画案の骨格などに関して審議を行った。

第1回6月27日、第2回8月31日、第3回10月24日、第4回1月22日、

第5回3月18日

・コンプライアンス委員会

新型コロナウイルス感染症の蔓延などの影響があり、類別の変わった後も、会議を招集することができなかった。

・財務委員会

WEB、メールを使用し、木南記念陸上等の競技会の協賛金獲得等の財務基盤の安定化対策や予算編成、決算作成事務などを進めたほか、公益認定に伴う諸手続きに関して調整やその手続き事務を担った。

(6) 組織改革

12月に収益事業検討プロジェクトチームが発足し、既存競技会の収支改善や新たな収支差額を生み出す催事の検討を行った。

以上のとおりであるが、2023年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

2023(令和6)年6月

公益財団法人大阪陸上競技協会